

平成29年度 第2回 函館市南茅部地域審議会会議録

開催日時	平成29年10月24日 火曜日 午後3時00分～午後4時5分			
開催場所	函館市南茅部総合センター 講堂			
内 容	<p>○報告事項 (1) 諸般の報告</p> <p>○議 題 (1) 平成30年度地域別事業計画(案)について</p> <p>○地域振興全般に関する意見交換</p> <p>○その他 (1) 地熱発電事業の進捗状況について (2) 地域会館の廃止について (3) その他</p>			
出席委員	◎熊谷儀一委員 嵐田由喜子委員 長谷川広宣委員 (◎:会長 ○:副会長)	○高谷大喜委員 佐藤俊司委員 坂井満委員	藤川健一委員 佐々木孝比古委員 熊谷真理子委員	張磨芳子委員 佐藤幸江委員 (計11名)
欠席委員	中村正俊委員	坂本裕太委員	野口慶太委員	工藤千春委員 (計4名)
事務局の出席者の職氏名	南茅部支所長 同地域振興課長 同市民福祉課長 同産業建設課長 同地域振興課主査 同地域振興課主任主事 南茅部教育事務所長 市立函館南茅部病院事務長	佐藤友則 佐藤安浩 吉田修一 西村雅人 佐々木愛 村上周平 赤城司 佐藤哲人	企画部計画推進室計画調整課主査 企画部計画推進室計画調整課主任主事 教育委員会生涯学習部文化財課長 同文化財課主査	坂田悟 品田朋廣 蛭子井慶治 福田裕二 (計12名)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・報道関係 函館新聞社 北海道新聞社 ・傍聴者 			(計2社) (計2名)

<p>1 開会</p> <p>事務局 (佐藤課長)</p>	<p>ただ今から、平成29年度第2回函館市南茅部地域審議会を開催する。</p>
<p>2 会長あいさつ</p> <p>熊谷会長</p>	<p>皆様それぞれお忙しい中、御出席いただき、この場を借りて厚く御礼申し上げます。地域審議会の前に台風が来ていた。昔から災害は忘れた頃にやってくると言われていたが、近年は毎年のように、今年は1か月か2か月間隔くらいで、大しけみたいなのが来ていたところである。</p> <p>そういうことも念頭に置きながら、今日は、南茅部地域での平成30年度予算にかかわることについて事務局から説明がある。そのことについて、皆さんから提案等をいただきたいと思っている。</p> <p>また、地熱発電事業の進捗状況、地域会館の廃止についての報告がある。皆さんから、質問等をいただきたいと思っている。その後、地域振興に関しての意見交換を予定しているので、忌憚のない御意見・御提言等をいただけるようお願い申し上げます。開会に当たってのあいさつとさせていただきます。よろしく願います。</p>
<p>3 支所長あいさつ</p> <p>佐藤支所長</p>	<p>委員の皆様方におかれては、スケトウ刺し網が始まったほか、養殖真昆布の種付け、昆布の製品化など時節柄お忙しい中、御出席を賜り、感謝申し上げます。また、平素より、当地域の振興はもとより、市政全般にわたり、御理解と御協力をいただいていることに対して、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。</p> <p>本日の地域審議会であるが、熊谷会長のごあいさつにもあったとおり、当地域における、平成30年度地域別事業計画（案）について報告をさせていただくほか、地域振興について意見交換をすることとしている。また、地域としても関心の高い事項である、地熱発電事業の進捗状況や地域会館の廃止などについて報告を予定している。委員の皆様からは、忌憚のない御意見や御提言を賜るようお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。</p>
<p>4 出席委員の報告</p> <p>事務局 (佐藤課長)</p>	<p>本日は、出席者11人、欠席者4人であり、出席者が過半数に達していることから、地域審議会の設置に関する規程第8条第3項の規定により、会議が成立していることを報告する。</p>

5 報告事項

(1) 諸般の報告

熊谷会長

(1) 諸般の報告について、報告をお願いします。

佐藤支所長

諸般の報告をさせていただく。報告事項は3点ある。

1点目は、平成29年第3回市議会定例会についてである。9月1日から9月19日までを会期として開催され、一般質問では、17名の議員の方から質問があった。南茅部地域に関連する項目としては、海洋環境の変化や海底状況に即応したウニ・アワビ等の増産に向けた取り組みや、北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた取り組み、そして、防災対策として、避難所での防災備蓄品の現状や管理、弾道ミサイルに対する危機管理対応として、ホームページなどを活用した情報提供などがあった。

2点目は、9月17日から18日にかけて北海道に上陸した台風18号の被害等についてである。この台風は、観測史上初めて、九州・四国・本州・北海道の本土4島全てに上陸した台風であり、東北・北海道においても記録的な大雨や暴風をもたらした。この台風の進路や勢力が、過去に激甚災害となった平成16年の台風18号と酷似していたことから、市としても早めの対応に努め、当支所においても避難所を3か所開設し、自主避難者の受け入れを行った。被害状況については、人的な被害はなかったが、強風による倉庫トタン屋根の剥離のほか、河川等からの土砂流出、市道の土砂崩れ、漁港施設や定置網養殖施設などへの被害があった。なお、被害への対応としては、市道や公園などの市の所管施設については、来月、復旧が完了する予定であるほか、治山施設などの北海道の所管施設については、復旧が完了したところである。

3点目は、南かやべ縄文まつりについてである。縄文文化交流センターの指定管理者である一般財団法人道南歴史文化振興財団を初め、南かやべ漁業協同組合や南茅部町内会連絡協議会、函館市南かやべ縄文文化創生の会などの団体で構成する「南かやべ縄文まつり実行委員会」の主催により、9月17日（日曜日）に縄文文化交流センターにて開催された。内容としては、石器づくりや、南茅部高校書道部による書道パフォーマンス、札幌在住の演奏家による「縄文太鼓」の演奏が披露された。また、土器づくりや弓矢の的当て体験ができる縄文ワークショップでは、親子で楽しむ姿も見られたほか、「史跡垣ノ島遺跡」見学会が行われ、参加者は、教育委員会の学芸員から竪穴住居跡や国内最大規模の盛り土遺構などの説明を受け、縄文文化の生活に対する理解を深めたところである。なお、8月26日から9月24日まで中空土偶国宝指定10周年を記念して、国宝土偶5体のレプリカを展示する企画展「縄文土偶サミット」が開催されており、当日は、この企画展にも多くの来場者があったと伺っている。

<p>熊谷会長</p>	<p>諸般の報告は、以上である。</p> <p>本日は、それぞれの部局より御出席をいただいているので、質問があれば担当の方からお答えをお願いしたい。</p> <p>質疑に入る。質問等はあるか。</p> <p>(なし)</p>
<p>6 議題</p> <p>(1) 平成30年度地域別事業計画(案)について</p> <p>熊谷会長 (1) 平成30年度地域別事業計画(案)について、説明をお願いします。</p> <p>事務局 (佐藤課長) 平成30年度地域別事業計画(案)について御説明させていただく。資料1を御覧いただきたい。この資料は、合併建設計画などをもとに、平成30年度に想定される事業を掲載している。これから新年度予算の予算要求作業を進めていくに当たり、皆様から御意見等をいただくためのたたき台ということで作成したものである。この後、必要性や緊急度・費用対効果などを考慮して予算の要求作業を進めることになるので御理解をいただきたい。</p> <p>1ページをお開きいただきたい。項目ごとに南茅部関連分について説明をしていく。右側の欄に南茅部地域分についての記載をしている。主な事業の「1. 多様で力強い産業を振興するまちづくり」の「(2)水産業の振興」である。1つ目の「漁港の整備」であるが、特定漁港漁場整備事業の中で臼尻漁港の整備、水産物供給基盤機能保全事業として古部・川汲の両漁港の整備を予定している。2つ目の「漁場の造成(コンブ・ウニ・ふのり・天然のり)」であるが、これは、南かやべ漁協が事業主体として漁場管理保全事業のコンブ漁場の雑海藻駆除事業に対する補助金である。次に、「ウニ・アワビ種苗等放流」であるが、これについても、漁協が行う資源増大・有効利用対策事業の、ウニとナマコの種苗放流に対する補助金である。次に、「その他関連事業の推進」であるが、これは、船揚場の利用者で組織している管理組合が実施する漁船施設整備事業の船揚場の維持補修にかかわる補助事業となっている。</p> <p>2ページをお開きいただきたい。「(3)農林業の振興」の、3つ目の「市有林等の整備」である。これは、実施箇所や事業量は、現在、担当部局で精査中である。例年であれば、間伐や下刈などを予定している事業である。</p> <p>3ページであるが、「(5)観光の振興」の、1つ目の「観光・宿泊施設の整備」であるが、南かやべ保養センターとホテルひろめ荘の改修事業を予定しているが、改修箇所については精査中である。「各種イベントの支援」については、今年度と同様にひろめ舟祭りの開催負担金を予定している。</p>	

	<p>4ページであるが、「2. 安全で快適な生活環境を充実するまちづくり」である。「(2)消防・防災・生活安全の充実」の、2つ目の「各種消防・救急車両の整備」の中で、小型動力ポンプ付積載車の更新を予定している。次に、「河川の整備」であるが、これは、市で管理する河川の堆積土砂の除去等事業を予定している。次に、「小規模治山事業」を実施する予定である。次に、「その他関連事業の推進」である。調査結果は、まだ出ていないが、今年度、南茅部支所庁舎の耐震診断を実施している。今後、耐震改修工事の実施設計を予定している。</p> <p>5ページであるが、「(3)交通・情報ネットワークの形成」である。「その他関連事業の推進」の、「地域内交通確保対策事業」で、地域福祉バスとスクールバスの運行を予定している。次に、「(5)生活環境の整備充実」である。1つ目の「水道の整備」について、簡易水道の配水管の整備を予定しているが、詳細は精査中である。続いて、「その他関連事業の推進」について、南茅部斎場の設備修繕を予定している。</p> <p>6ページであるが、「3. やさしさとぬくもりのあるまちづくり」である。「(1)保健・医療の推進」の、5つ目の「医療機器の購入ほか」について、南茅部病院の医療機器整備事業として行う医療機器の更新などとなっており、内容については精査中である。</p> <p>7ページであるが、「(3)高齢者福祉の推進」の、「その他関連事業の推進」であるが、前年度と同様、高齢者温泉等入浴優待事業を予定している。</p> <p>8ページであるが、「4. いきいきと学び地域文化を育むまちづくり」である。「(4)特色ある地域文化の創造」の、2つ目の「大船遺跡等の保存・整備」について、史跡垣ノ島遺跡整備事業、縄文遺跡群世界遺産登録推進事業を予定している。次に、「その他関連事業の推進」である。これは、臨港道路や新外環状道路などの発掘調査の受託事業を予定している。</p> <p>9ページであるが、「5. 連携と交流によるまちづくり」である。「(1)住民参加の推進」の「その他関連事業の推進」では、地域会館の改修事業として、古部会館の改修を予定している。</p> <p>南茅部地域分ということで、説明は以上である。よろしく願います。</p>
熊谷会長	質疑に入る。質問はあるか。
佐々木委員	1ページの、「水産業の振興」で、ウニ・アワビ種苗等放流ということでナマコ種苗放流とある。これはいつ頃から始まっているのか。
産業建設課 (西村課長)	申し訳ないが、いつからナマコの種苗放流が始まったのか私も承知していない。確認して返答したい。
熊谷会長	ほかに質問はあるか。

熊谷会長	私から1つお聞きしたい。今年か、昨年からなのか不正確であるが、現在、磯焼けのような現象が全地域で起きている。このことについて、南かやべ漁協は率先してやらなければならないだろうが、市もこの件に関して調査なりを、現在、行っているのか。
産業建設課 (西村課長)	磯焼けのような現象の調査について、今年6月16日・19日・20日の3日間の日程で函館水産試験場、渡島地区水産技術普及指導所、渡島総合振興局産業振興部水産課の協力のもと、ダイバーが潜ったり、水中カメラでの撮影を行うなどして海底の状況を調査している。結果はまだ出てきていないが、その調査を漁協の支所ごとに2・3か所ずつ実施している。今後もこの調査を続けていくかどうかは決定していない。結果もまだこちらに届いていないが、調査したということである。
熊谷会長	まだ、結果は出ていないということで、対策等については、今後、講じるという理解で良いか。
産業建設課 (西村課長)	結果次第でどのようになるかというところがあり、はっきりした回答はできない。
熊谷会長	漁協も理解していることとあって良いか。
産業建設課 (西村課長)	天然昆布が、従来生育していた所に生えていないということは、漁協でも認識している。どういう対策を講じていくかは、はっきりしていないが、何らかの対策は必要になるかと思う。
熊谷会長	南茅部の海域の中で、各地域ごとにどのくらいの範囲でそのような現象が起きているかわかるか。
産業建設課 (西村課長)	それは調べていない。この辺にあった藻場がなくなったということしか漁協からも来ていない。
熊谷会長	ダイバーが潜って、それらしいところを調査したということか。
産業建設課 (西村課長)	漁協の選定した場所に、ダイバーを潜らせて海底の状況を調査している。
熊谷会長	今後調査結果が出て、対策を講じるという方向が決まったら、詳細でなくても教えていただきたい。

	ほかに質問はあるか。
熊谷会長	冒頭に話したが、来年度の予算にかかわることであるので、一覧表に載っている以外に、要望するような事業があれば予算化も可能かと思う。気の付いた点、お願いしたい点があれば述べていただきたい。
佐々木委員	大船の高台にある公園（緑地広場）に行く道路の擁壁の上に雑草が生い茂って道路にかぶさっている。昆布の水揚げ時期には、ユニック車が結構通るが、片側車線しか通れない状態である。雑草が垂れ下がっているため擁壁側は通れない。もう1つは、その下の方に排水側溝があるが、土砂が溜まって雨が降ったときは道路に水が流れて来る。ロードヒーティングが入っているが、入る前に道路が凍ると危険である。以前、産業建設課にお願いをしたがその回答がされていない。対応はどうなっているのか。
産業建設課 (西村課長)	草刈りは実施する。（※土砂の除去は10月に実施済み。）
佐々木委員	6月20日頃から促成昆布の水揚げが始まるのでその前にしてほしい。
産業建設課 (西村課長)	了解した。
熊谷会長	30年度の予算でなくても軽微なことについては、その都度担当課にお願いしていただきたい。 ほかにあるか。
嵐田委員	9月中頃に、磯谷の黒羽尻の山奥に行った。大分前に行った時には、木が多く中に入るのが大変であったが、この時は、軽石がむきだし状態になっていて驚いた。以前は、女性部の方々が、山に植林に行ったという話を聞いた。そこが道有林か国有林か市有林かはわからないが、これから、そこに木を植えるのか。
産業建設課 (西村課長)	昨年から今年にかけて伐採に入ったのは、確かである。道有林だったと思うが、道有林の植栽は必ず実施すると思う。
熊谷会長	関係機関に問い合わせ、はっきりした答えを後で教えていただきたい。
張磨委員	病院の取り付け道路に、結構ごみを捨てて行く人がいる。私も拾ったが、拾ったごみは、ボランティアのごみ袋に入れたが業者が回収してくれなかつ

	た。支所の市民福祉課に連絡をしないと回収してもらえないのか。
市民福祉課 (吉田課長)	ボランティア清掃の件であるが、事前に市民福祉課に連絡をいただくと、市民福祉課から回収業者に連絡して回収することになっている。ボランティア清掃される場合は、市民福祉課に連絡をいただきたい。
張磨委員	市民福祉課に連絡しないと、ボランティア清掃ができないということか。
熊谷会長	ボランティア清掃について事前に連絡をすることで、業者がごみステーションに出しておいたボランティア清掃のごみ袋を持って行ってくれる。市民福祉課から業者に連絡をしておかないと、ボランティア清掃の袋であっても持って行かない。
張磨委員	了解した。
産業建設課 (西村課長)	先ほど、佐々木委員からあったナマコの種苗の放流開始時期であるが、平成27年度からである。
佐々木委員	種苗を購入しているのか。または、地元で養成しているのか。
産業建設課 (西村課長)	購入している。
佐々木委員	どこから購入しているのか。
産業建設課 (西村課長)	檜山方面から購入している。
佐々木委員	了解した。
熊谷会長	ほかにあるか。 (なし)

7 地域振興全般に関する意見交換

熊谷会長	地域振興全般に関する意見交換を行う。何か気付いた点があれば発言をお願いします。
藤川委員	2点ほどお聞きしたい。 1点は、台風18号で磯谷の道路が土砂崩れで塞がり、産業建設課長が見に来て対応してもらったが、治山事業は、道の事業になるのか国の事業になるのか。国か道なら着工の目途はいつ頃か。
産業建設課 (西村課長)	市道磯谷温泉線であるが、台風18号で危険ということで通行止めとした。崩れないように治山工事を実施しようということで、市で来年度から北海道に要望する。治山工事を行う前に、その区域を保安林に指定しなければならないため、来年度から、市が、地権者に保安林に指定する承諾を得る必要があり1件1件歩く。それを得た後に、北海道に要望していくという形になるので、治山工事の着手は、早くても3年後になる。
藤川委員	国と道との事業になるのか。
産業建設課 (西村課長)	北海道の事業である。
藤川委員	尾札部道路について、私たち町内会長は1年に1回尾札部道路建設促進地域協議会で説明を受けているが、このたびの選挙の結果を受けて尾札部道路の予算が今後どうなっていくのか心配している。町内会長だけの聞き取りでなくて、地域審議会にも市から説明を受けたらいいのではと思う。次回の地域審議会で、関係者の説明を受けたいがどうか。
熊谷会長	支所長どうか。
佐藤支所長	従前より市と開発建設部とでやりとりしながら、地域協議会とも一緒に要望活動をしている事業であるので、直接開発建設部から説明に来てもらうのがどうなのかということはあるが、内容については、今後必要があれば情報提供をしていきたいと考えている。
藤川委員	私が言っているのは、地域審議会の委員にも知ってもらいたいということである。道路の進め方については、町内会長だけが知っているだけで、地域審議会の委員はあまり知らないと思うので、次回の地域審議会で担当者から説明を受けたらいいのではないかという私の考えである。

佐藤支所長	<p>次回に向けてどういう形になるかわからないが、整備の今後の状況について説明させていただくので、よろしくお願いします。</p>
熊谷会長	<p>要請していただき、開発建設部で来られなかったら、市の担当者もある程度中身を知っていると思うので、地域審議会で報告していただければと思う。</p> <p>ほかにないか。</p> <p>(なし)</p>
8 その他	
(1) 地熱発電事業の進捗状況について	
熊谷会長	<p>(1) 地熱発電事業の進捗状況について、報告をお願いします。</p>
地域振興課 (佐藤課長)	<p>地熱発電事業の進捗状況について御説明させていただく。民間事業者による地熱発電事業であるが、本年7月の第1回の地域審議会で御報告させていただいており、本年5月に白尻会館と大船会館において住民説明会が開催され、その中で事業者からこれまでの調査結果や発電所の概要、スケジュールなどが報告され、地域の方々から多くの御意見をいただいたということをお話しさせていただいた。また、今後のスケジュールということでさらに3本目の調査井を掘削していくこと、また、この調査井の噴気試験を行う予定で、その結果によって、発電量の変更というようなことも想定されるというところまで御報告をさせていただいた。</p> <p>その後の進捗状況について、御報告をさせていただく。</p> <p>10月中旬から3本目の調査井の区域内で土木工事が開始されるが、土木工事により濁水の流出が懸念されるので、事前に南かやべ漁業協同組合などの関係団体に対して、処理方法などについて事業者から説明をしたところである。具体的な処理方法については、降雨時に地面を掘削して露出した箇所から濁水が流出しないように沈砂池（ちんさち）を設置し、そこで濁水を受けて椰子殻フィルターを通し、濾過したきれいな水を放流するという方法をとるということである。降雨によって、土が軟弱になる前に作業を中止するなどして、濁水が発生しないように対応をするといった説明がされている。バイパス道路に送電線の埋設工事をすると話していたが、その工事に向けてバイパスのルート of 地質状況の確認をするために、バイパス上で4か所ほど試掘調査を実施するというので、10月から11月にかけて試掘調査をしている箇所があると思う。以上が、進捗状況である。なお、本年3月の地域審議会で御報告させていただいたが、平成29年8月から2年くらいかけて、発電所の建設予定地から川汲町の北電の配電施設までの約12キロについて、送電線を敷設するという話であったが、事業者がスケジュールの見</p>

熊谷会長	<p>直しを行い、今年度は実施しないということである。来年度雪が解けた辺りに、地下埋設工事を実施すると聞いている。報告については以上であるが、また、進捗状況について何かあれば随時報告していきたいと思っているのでよろしく願います。</p> <p>説明について質問あるか。</p> <p>(なし)</p>
熊谷会長	<p>本格的に、電線の埋設工事は来年度、雪解けにかけてという説明であった。なるべく早めに終わってくれればと思うが、よろしいか。</p> <p>(異議なし)</p>
(2) 地域会館の廃止について	
熊谷会長	<p>(2) 地域会館の廃止について、報告をお願いします。</p>
市民福祉課 (吉田課長)	<p>平成29年度末に廃止する地域会館について御報告する。平成25年度第2回および平成26年度第2回地域審議会において、「今後の公共施設のあり方に関する基本方針」について御報告していたが、この基本方針では平成29年度末までに、地域会館を1町内会1会館に整理統合することとしていた。南茅部地域では、当初地域会館が15会館あったが、関係する町内会と協議を重ね、平成26年度末に、白井川会館・尾札部中央会館・双見会館の3会館を廃止し、平成29年度末には、ポン木直会館・見日会館・黒鷲会館・望路会館の4会館を廃止することで協議が整っていたところである。12月に開催される第4回市議会定例会に、平成29年度末をもって廃止するポン木直会館・見日会館・黒鷲会館・望路会館の4つの地域会館廃止にかかる条例を提案する予定であるので御報告する。</p> <p>以上である。</p>
熊谷会長	<p>質問はあるか。</p> <p>(なし)</p>
熊谷会長	<p>平成30年度からの基本的な考え方は、各町内会1会館という方向で町内会とも話が整理されている。廃止する地域会館が残っているのは、尾札部町内会と木直町内会と磯谷町内会で、地域では多少不便になるが、利用度の問題もあるし維持費の問題もある。そういうこともあり、各関係の町内会長にも理解いただいたということである。</p>

	<p>この件については、よろしいか。</p> <p>(異議なし)</p>
(3) その他	
熊谷会長	(3) その他について、何かあるか。
地域振興課 (佐藤課長)	<p>以前、市政はこだて10月号に折り込んだチラシであるが、内容はヘリコプターによる地質調査のお知らせというものであった。国で全国的な地熱調査を行うということで、今日連絡が入り、今日からヘリコプターによる調査が入ることとなった。広範囲を飛ぶことや気象状況などを見ながら機長の判断で飛ぶため、いつどこを飛ぶという詳しいことは、その時でなければ決まらないためお話しできないが、このチラシで示した範囲で調査が入ることである。音が聞こえるかもしれないが、あくまでも調査で飛んでいるということである。</p> <p>以上である。よろしく願います。</p>
熊谷会長	そのほかにあるか。
高谷委員	中学校の校舎の建設に関して、前回の説明会は、時期が悪くて相当集まりが悪かったと思う。設計が完了した時点なのか、青写真ができた辺りなのか、タイミングはお任せするが、もう1回、地域に説明してもらえないかと思う。
教育事務所 (赤城所長)	<p>本日、学校教育部の出席はないが、中学校の統合についての説明会をそれぞれの中学校で1回ずつ行い、統合校の場所の選定と平成35年度に開校予定であることなどについて説明させていただいた。出席状況については少なかったと思う。</p> <p>次のスケジュールとしては準備委員会があるが、これについては現在、立ち上げの準備をしている段階であると聞いている。建設工事の前に設計がある。これは基本設計から実施設計という流れで進められると考えられるが、その開始時期は来年度以降と聞いている。現在、次の段階に向けた準備をしていると聞いているので、その過程の中でもう一步踏み込んだ形の説明会の開催も考えられる。お示しできる内容に応じ、その都度地域を含めて説明していくことになるかと思うので、今しばらく次のステップをお待ちしていただきたい。</p>
熊谷会長	今の説明で、その都度ある程度わかった範囲の中で説明をするということであるが、私が思うのは、前回提示された多目的グラウンド内に校舎を新

	<p>築することについて、ある程度疑問を感じている人たちもいるのではないか。スペース的にどうなのかという疑問を持っている方もいるので、できれば基本設計の前に1, 2回地域の意見を聞いていただいて、基本設計後にまた意見を聞く場を設けるなど回数を重ねて地域に入りながら、将来的に皆さんに喜んでもらえるような学校施設として残していただければと思うので、お願いしたい。</p>
熊谷会長	<p>そのほかにあるか。</p>
教育委員会 (蛭子井課長)	<p>文化財課から皆様の机の上にチラシを配布させていただいている。11月11日(土曜日)の2時半から「縄文シティサミットinはこだて」ということで「世界に発信!日本の心、縄文のこころ」ということをテーマに、国際観光に向けた戦略も含めて基調講演をいただきながら、また、全国の各都市の縄文遺跡を持っている都市の首長が集まり討論なども行う。皆様にぜひ函館アリーナで開催するので御参加いただければと思う。基調講演は、日本の今の縄文文化の研究の第一人者である小林達雄先生、タレントの藤岡みなみさんという自称土偶女子としてテレビに出ていらっしゃる方である。ぜひ御参加をお願いしたい。</p> <p>以上である。</p>
熊谷会長	<p>垣ノ島遺跡の盛り土遺構の件について、垣ノ島遺跡関係の進捗状況、今後の予定について、わかる範囲内でいいので教えていただきたい。</p>
教育委員会 (蛭子井課長)	<p>今年度から整備に着手している。今の予定では、来年度は盛り土遺構の大まかな復元工事に入る。今ある地形は、大きな開発はされていないが、ある時期に農地にされていた部分もあり、盛り土遺構の一部が、これまでの調査の結果で考えている縄文時代の時の形と少し変わっている部分がある。大きな開発は入っていないので大分良好な形で遺構は残っている。現在の盛り土遺構を調べていくと、昭和4年に駒ヶ岳が噴火した火山灰が積もっている。その部分を取り除くと、大分現在の地形から縄文時代の地形に近づくので、それを取り除く形での整備を、今、進めていこうとしている。農地とかで改変されて一部掘削されているところもあるので、そこについては、これまでの発掘調査の結果で一定程度造成していくような形で考えている。30年度の実施は、盛り土遺構の整備、最終的には形を整えた上ですべて芝を張っていく予定をしている。今は、草花が生い茂っている状態だが、一旦きれいにして芝を張ることで、大分起伏がわかりやすくなるかと思う。その後、31年度には縄文文化交流センターの裏手にあるガラス張りの所から見える所であるが、以前基本設計でお示したような形で体験広場、エントランスということで遺跡の紹介や園路を整備して31年度末までに終わる予定としてい</p>

	<p>るが、国の補助金をいただいて整備をしているため、事業費の半分が国の補助金なので補助金がなければ整備できないということになる。現状では補助金の額は厳しい状況である。こちらで予定している事業量で要望はするが、結構削られてくるので、できるだけ31年度中にはと思っているが、補助金の状況によっては若干延びる可能性もはらんでいるというのが、今の状況である。</p>
熊谷会長	<p>その都度、年度ごとの進捗等について、説明いただきたいと思うのでよろしく願います。</p>
佐々木委員	<p>垣ノ島遺跡の整備についての図面の説明があったが、あの中に駐車場のスペースはあるのか。</p>
教育委員会 (蛭子井課長)	<p>駐車場は、基本的に縄文文化交流センターの駐車場を使っただく。</p>
佐々木委員	<p>今の道の駅の駐車場か。整備して来場者が多くなった場合に対応できるのか。</p>
教育委員会 (蛭子井課長)	<p>世界遺産を目指しているので、来年推薦されると見学者が増えると思う。縄文文化交流センターもしかりであるが、臨時の駐車場についても、今、検討している。センターの向かい側に時々駐車場として借りている所があるので、そちらの地主とも話をしており、一定程度台数は確保できると思う。</p>
佐々木委員	<p>今の臨時の駐車場もあるが、遺跡は整備されても、駐車場は整備しないのか。</p>
教育委員会 (蛭子井課長)	<p>史跡内は、基本的に駐車場的なものをつくることは難しいので、駐車場を新たに大きく整備するとなると、別の場所に土地を求めて整備しなければならないが、それは難しいところもある。ただし、史跡の真ん中辺りにはすでに造成されている箇所があり、トイレ・管理棟を建てる予定で、ここに簡単な舗装をして、車椅子を利用する方や高齢者が遺跡に直接入れるための簡易な駐車スペースを考えている。一般の方には、縄文文化交流センターの支所側から遺跡に入っただく予定なので、縄文文化交流センターの駐車場を利用しただくことで動線的には問題ないと思っている。さらに世界遺産ということになると来訪者が増えるので、臨時の駐車場として斜め向かいの土地について活用していきたいと考えている。</p>
佐々木委員	<p>既存の道の駅の駐車場は、大型バスが3・4台入ると乗用車もかなり窮屈</p>

熊谷会長	<p>になる。事故も多くなるだろうし、その辺も考えながら進めてほしい。</p> <p>今説明があったように縄文文化交流センターとそれに伴う周辺の公園化、体験できるスペースもある。整備しただけではうまくない。地域で率先して活用していく方法も皆さんから意見や提言をいただいて、地域で一生懸命活用する方法を探っていかなければならないと思っているので、次回以降もその辺も含めて皆さんから御意見いただけるように考えてきていただきたい。</p>
熊谷会長	<p>ほかにあるか。</p>
事務局 (佐藤課長)	<p>次回の地域審議会については、例年どおり3月下旬を予定している。時期が近くなったら皆さんに日程を確認しながら御案内したいので、その時はまたよろしく願います。</p>
熊谷会長	<p>その他を終了する。</p>
事務局 (佐藤課長)	<p>平成29年度第2回函館市南茅部地域審議会を終了する。</p>
<p>(午後4時5分閉会)</p>	